

Democracy R&Dの存在が、欧州における気候市民会議の広がりにどのように影響しているか？
→気候市民会議に関わる関係組織に着目して考察した

Democracy R&Dのメンバー



世界各国の気候市民会議

※BuergerhaetのHPで紹介されている事例



1 国レベル (10地域)

Austria、Denmark、Finland、France、Germany、Luxembourg、Scotland、Spain、UK、Belgium

調査対象：8カ国

* HP上で情報収集が可能だった事例



2 地域レベル (59地域)

Austria(1)、Belgium(3)、Denmark(1)、Estonia(2)、France(2)、Germany(8)、Great Britain(28)、Hungary(2)、Japan(2)、Netherlands(3)、Poland(2)、Spain(2)、Switzerland(2)、USA(1)



表 各国の専門家組織の分野構成（日本学術会議の分類）

国	総合系			人文社会学系			理工系			生物系			その他	合計	
	情報学	環境学	複合領域	総合人文社会	人文学	社会科学	総合理工	数物系科学	化学	工学	総合生物	生物学			農学
フランス		5	3			2								2	12
イギリス		14	2												16
スコットランド		5				1						2		1	9
フィンランド		2	1					2	1					2	8
ドイツ		17	1			3			3		1	1		2	28
デンマーク		2				3			1			1		2	9
スペイン		6	2			3						1		3	15
オーストリア		3	2		1	3			1	2		2	1		15

立法支援チームが別途組織されていた・実務家の採用が多い

→法律に落とし込むため

若手・小学校の環境教育の活動家が含まれる

→実践的視点を含めるため

主に環境学の専門家が担っている→専門的知見の提供

社会科学系の専門家が含まれることが多い→市民参加に関する知見の提供？

内容の検討において専門家の具体的に果たした役割に着目した分析が求められる

表 各国の運営組織と Democracy R&Dとの関わり

国	運営組織	Democracy R&Dとの関わり
フランス	Missions Publiques	○
	Res publica	-
	Eurogroup Consulting	
イギリス	The Involve Foundation	○
	Sortition Foundation	○
	mySociety	-
スコットランド	Involve	○
	Democratic Society	○
フィンランド	トゥルク大学	-
ドイツ	Nexus Institut für Kooperationsmanagement und interdisziplinäre Forschung GmbH	○
	ifok GmbH	-
	IPG Institut für Partizipatives Gestalten GmbH	-
デンマーク	KEFM	-
	Danish Board of Technology Foundation	○
スペイン	Basque Center for Climate Change (BC3)	-
	Red Española de Desarrollo Sostenible (REDS)	-
オーストリア	ÖGUT	-
	pulswerk	-
	PlanSinn	-

ネットワーク外の様々な団体が関わっている

KNOCA(International Knowledge Network on Climate Assemblies)という組織が立ち上がっている。→ 実践+研究面での成果や課題の共有がなされることが期待される